

ケン神父のメッセージ

札幌聖心女子学院の教職員、学生、またご両親の皆さん、新学期おめでとうございます。今年の勉強のテーマは、「Make a difference」です。これは、日本語で色々翻訳できますが、「変化を生み出す」や、「状況が変わる」という意味です。学生のみなさん、2019年の目の前の勉強やこれから目標を達成するために、頑張りましょう。このテーマは、とてもカッコいいですが、問題は、「どの方法で変化を生み出すか」「どのように状況を変化させるか」です。このことを説明するために、フランス：パリの街のノートルダム大聖堂が火事で崩れてしまったことについて話したいと思います。

みなさん、パリのノートルダム大聖堂に行ったことはありますか？ケンちゃん神父はとてもラッキーなので、何回も行ったことがあります。やはり、ノートルダム大聖堂は、とても美しいです。私にとってノートルダム大聖堂は、美しさより、長い歴史の素晴らしさを見ることの出来るとても感動的な建築物です。私たち人間は、900年前にこんなに素晴らしい建築物を建てられたのですから、今の時代であればもっと素晴らしい建築物を建てられるのではないかと思います。900年前の人間が、神様に賛美するためノートルダム大聖堂を建てました。なぜなら、人々は神様のことが大好きだったからです。ここで皆さんに質問があります。皆さんは、いまの世界に向けて「Make a difference」という気持ちを持っていますか？そして、何もしくは誰が好きですか？皆さんは、900年前の人々がこの美しい建築物を建てたように、何か美しい物に興味はありますか？

もちろん、皆さんはまだ学生なので、お金や、運転免許、資格もない状態ですが、私たち大人より世界で一番素晴らしい力を秘めていると思います。それは、「Power of love」愛の力です。先週のノートルダム大聖堂が火事になった時、パリの市民たちは愛を通して火を消すために協力しました。その時に出動した消防士は400人と言われており、何時間もかけて火を消したそうです。そして、ノートルダム大聖堂で働いていた神父達は、教会の中の

大切な物を救うために、勇気を振り絞り危険を冒してまで教会の中に入り、歴史的に重要なものを救い出しました。それは、「イエス様のいばらの冠」「聖ルイ9世のコープ（聖職者が儀式の時に着るマントのような外衣）」などです。

では皆さんは、ここ聖心高校で今年、どのような方法を使って「Make a difference」できると思いますか？おそらく皆さんは、火事や戦争を経験することはないと思います。しかし、皆さんはクラスメイトの命に「Make a difference」することができます。皆さんは、「Power of love」愛の力を通して、友達が必要としている助けをすることができるのです。まずは、大きな事より、小さな愛の業を考えて下さい。小さな愛の業とは、例えば、挨拶をする、お昼に一人でご飯を食べることがないようにみんなで誘い合って食べる、人のことを悪く言わない、などです。もちろん皆さん友達がいてグループになっていることが多いと思いますが、学校のコミュニティーも大切です。ですから、自分以外の他の人達を尊重して大切にしてあげてください。誰もが、友達になる可能性があるということを忘れないで下さい。水を通して、ノートルダム大聖堂の火は消されました。皆さんの愛を通して、周りの人の心を回復させてあげることができます。それは、イエス様の御復活の奇跡と似ています。皆さんがこれらのことできれば、それは、とても素晴らしい「Make a difference」になります。

皆さん、聖心高校の見守る聖人はイエス様です。彼の素晴らしい心は、人間の歴史に「Make a difference」しました。なぜなら、彼は、偉い人としてこの世に生まれてきたのではなく、人々に与えるために生まれてきたのです。どうぞ皆さん、このイエス様の精神を持って、今年の任された勉強とクラブ活動を頑張って下さい。そうすれば、自分の命と周りの友達の命にも「Make a difference」できます。どうぞ皆さん、自分の「Power of love」、愛の力を家の中でも学校でも社会外でも使ってください。ありがとうございます。

皆さん、今年一年の勉強とクラブ活動が頑張れるように、1分間黙想しましょう。